

NCGG-UniCoシンポジウム（第3回プレコンソーシアム会議）

# 「認知症になっても買い物を楽しめる スローショッピング」

岩手西北医師会認知症支援地域ネットワーク 代表  
このの神経内科・脳神経外科クリニック 院長  
NPO法人やまぼうしネットワーク 理事長  
紺野 敏昭

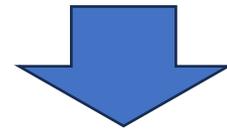
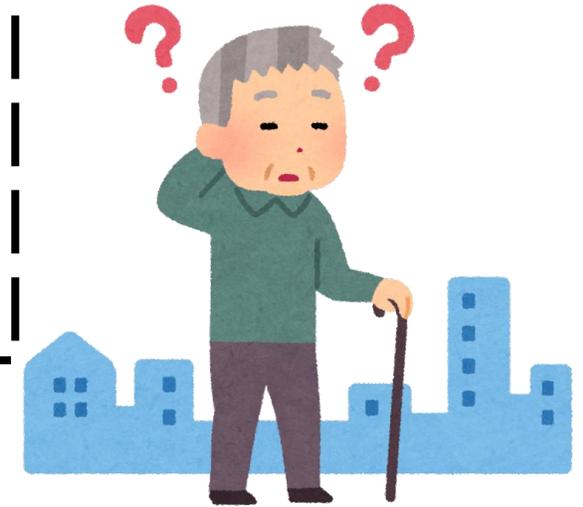
日時：令和7年3月14日（金） 14:00~16:30

開催方法：ハイブリッド形式（会場・オンライン）

主催：国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター

# 古い認知症観 = 偏見

- ・ 認知症になったら何もできなくなる、何もわからなくなる
- ・ 人格が崩壊する
- ・ 認知症になったら人生終わりだ . . . . .



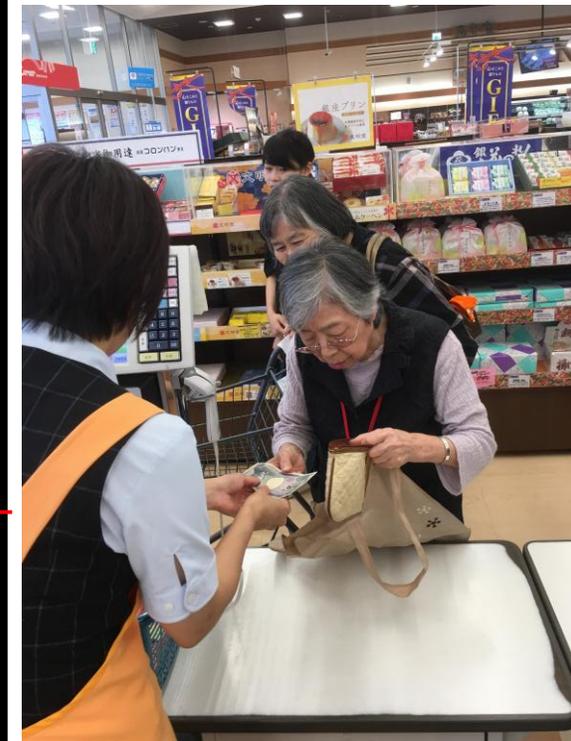
# 新しい認知症観

- ・ 認知機能は低下しても、すべてを忘れるわけではない、何も理解できなくなるわけではない

- ・ 認知機能の低下に配慮した支援や社会環境があれば、

自らの意思に基づいて自らの生活を選択し、希望と尊厳

をもって暮らすことができる



# Alzheimer型認知症の病巣

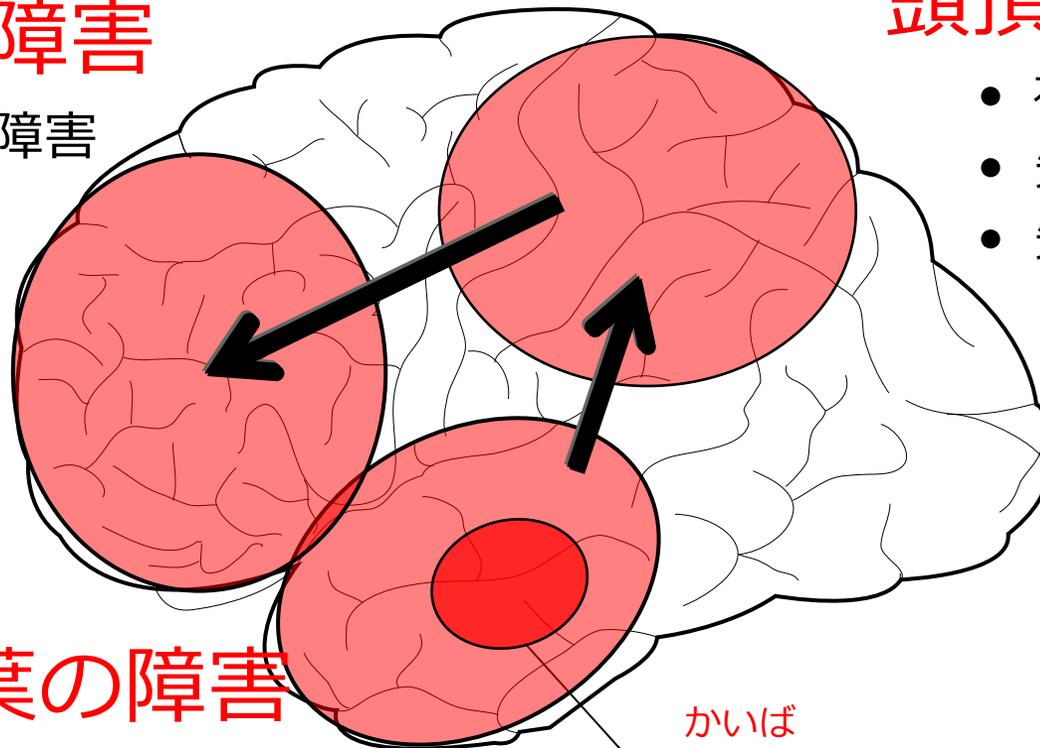
- **典型** 一挙に壊れるわけではない。何年もかかる！！ **こなる。**  
できる能力はいっぱい残っている

## 前頭葉の障害

- 感情・気分の障害
- 認知障害
- 自発性の低下
- 人格変化

## 頭頂葉の障害

- 視覚障害
- 失行
- 失認



## 側頭葉の障害

- 感覚失語
- 性格変化

かいば  
**海馬**

- 記憶の障害

英国アルツハイマー協会  
映像

判断力が低下

段取りを組み立てるのが  
苦手に

同時に何個もの作業がで  
きなくなってくる

言葉を理解しにくくなる  
うまく表現できなくなる

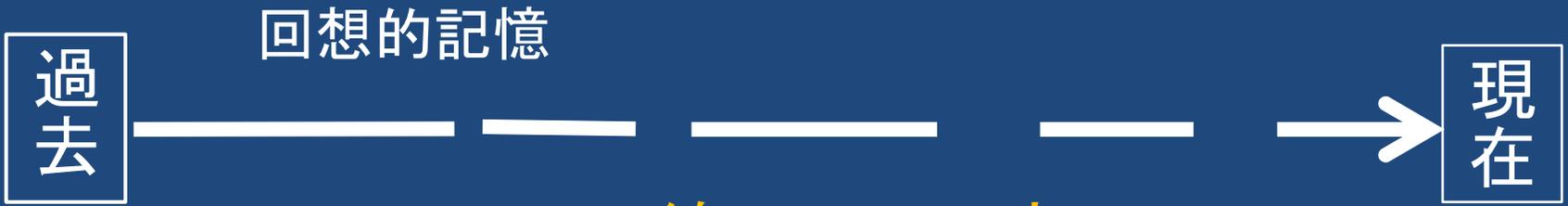
状況の判断が苦手に

など

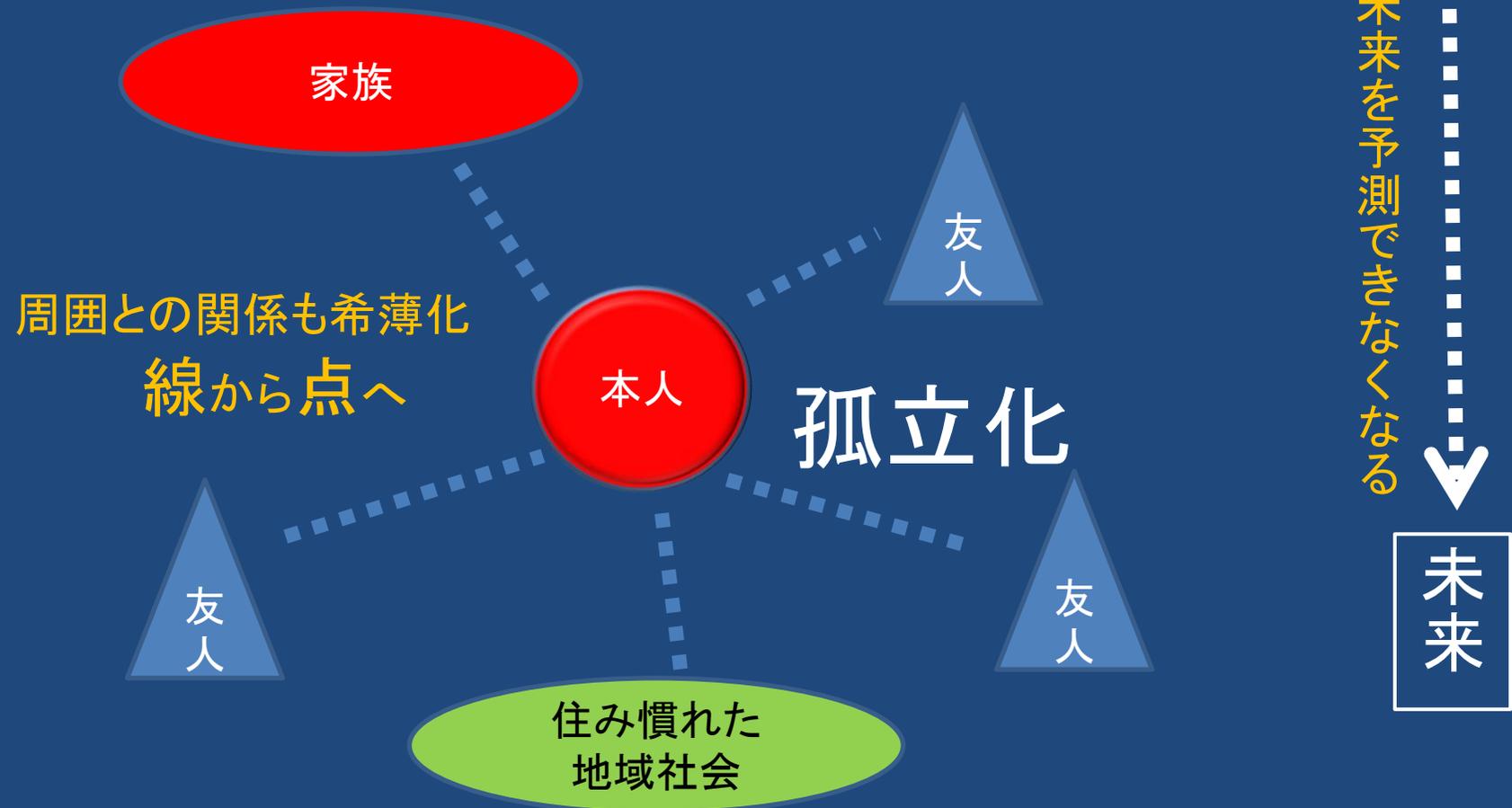
認知症は「**生活の障害**」

**生活に視点を当てた  
地域社会づくり** が必要

認知症と共に暮らして行く  
社会をめざして



連続した記憶の線が分断されて点になってくる



展望的記憶  
未来を予測できなくなる



多くの職種による支援のネットワークが必要

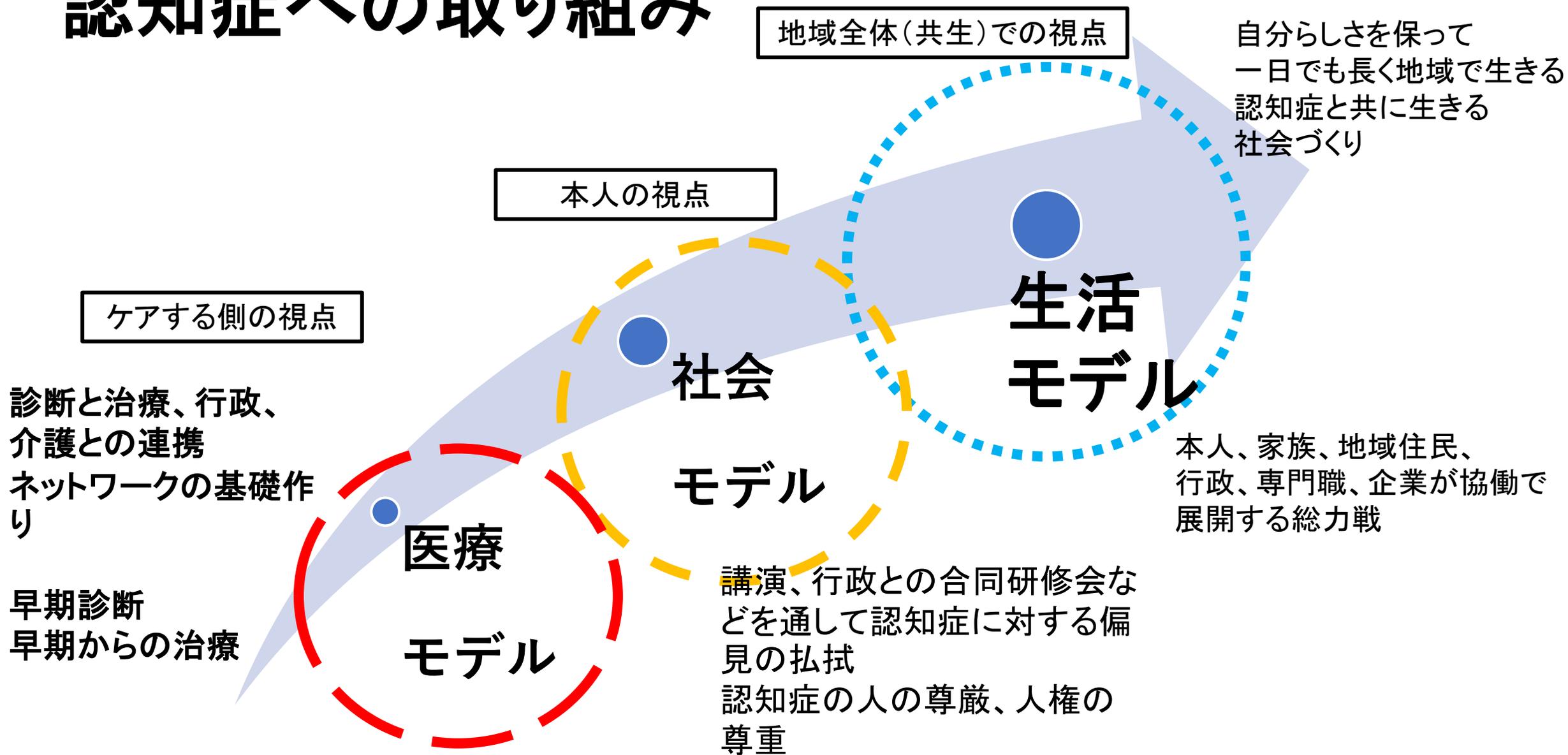


岩手西北医師会認知症支援地域ネットワーク  
(やまぼうしネットワーク)

平成25年12月1日 立ち上げ



# 認知症への取り組み



# 認知症になると買い物に行かなくなる人が 多いのは

なぜ？



ノート ちゃん



ポッケ ちゃん



認知症とは  
生活の障害なの  
です



にじいろ ちゃん

# 《 普段の診療での聞き取り感じていたのは 》

主婦として、日常の買い物は家事の中でも当たり前重要な役割。  
その役割感を少しでも取り戻せないか？

認知症に理解が不足の家族は本人に買い物はさせない・・・

たとえ理解のある家族でもスーパー、デパートへ買い物に連れては行くものの、家族が主導権を握り本人はただそばについているだけのことが多い

➡ 買い物をしたという実感が無い

それまで行っていた買い物を止めて、行かなくなった当事者にその理由を聞いてみると、

- ➔ レジで後ろからせつつかれたり、レジの人の冷たい視線を感じて嫌になった
- ➔ 必要な商品がどこにあるのか探せない
- ➔ 商品が多すぎる
- ➔ 選びきれない

その結果

自信を失くしていく

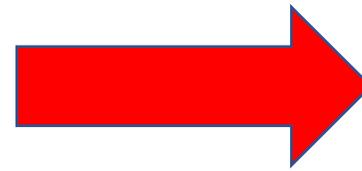
自分でも何もできな人間になったと思い込んでしまう

自分から行動すると叱られる

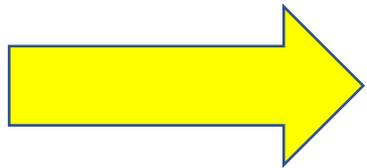
自分はこの家族の中で、役割・居場所がなくなったと感じる

➡ 「家に帰る」と言い出す

孤独を感じて、引きこもる



**認知症が悪化する  
進行が速くなる**



**自分で買い物をしてみたいですか？ と聞くと  
遠慮、ためらいを見せながらも、**

**「してみたい」「もう一度財布を持ってみたい」と  
答える人が多い**

主婦として、日常の買い物は家事の中でも  
当たり前前の重要な役割。

その役割感を少しでも取り戻せないか？

本人の意思を尊重した、生活障害の  
自立支援の実践を  
スーパーマーケットでしてみたいと  
数年考えてきた

活躍の場を見いだせないでいる多くの  
認知症サポーターの実践活動の場  
にしたい

## 期待できる効果

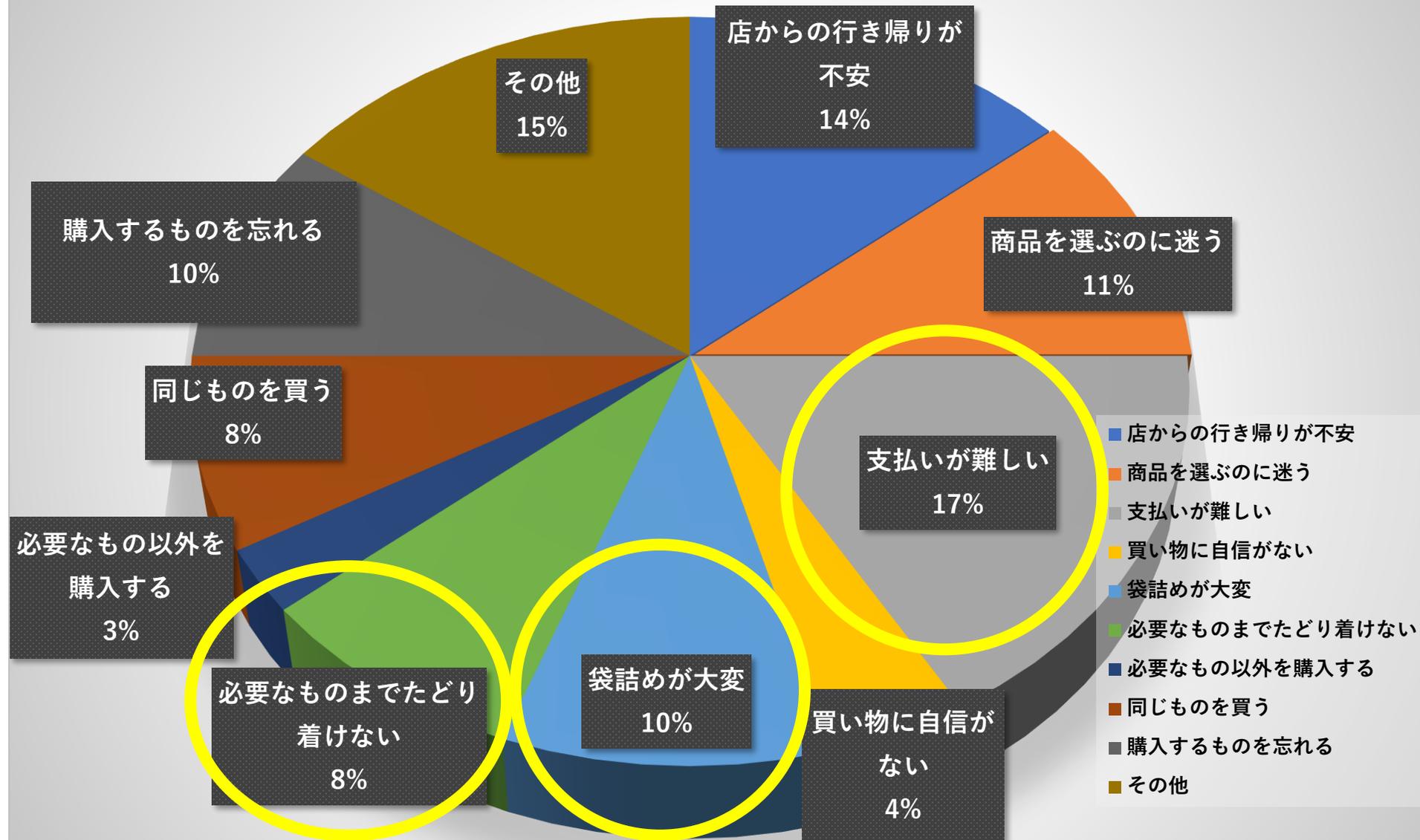
孤立・孤独の解消  
自信、自立の回復  
自己決定の喜び  
尊厳の回復  
家族内での存在意義  
の回復  
生きる希望の回復

# 買い物楽しさをもう一度



**スローショッピング  
に来てみませんか！！**

# 買い物での心配や困りごと



当院での認知症を有する人への買い物に関するアンケート調査 例数 160人

# 袋詰めはなぜ困難なのか？

全体をみて、どれが一番壊れにくいのか？ を判断

→ それを一番下に

次に壊れにくいものは、

→ その上に重ねる

もっとも壊れやすいもの

→ 一番上に

(使う能力)

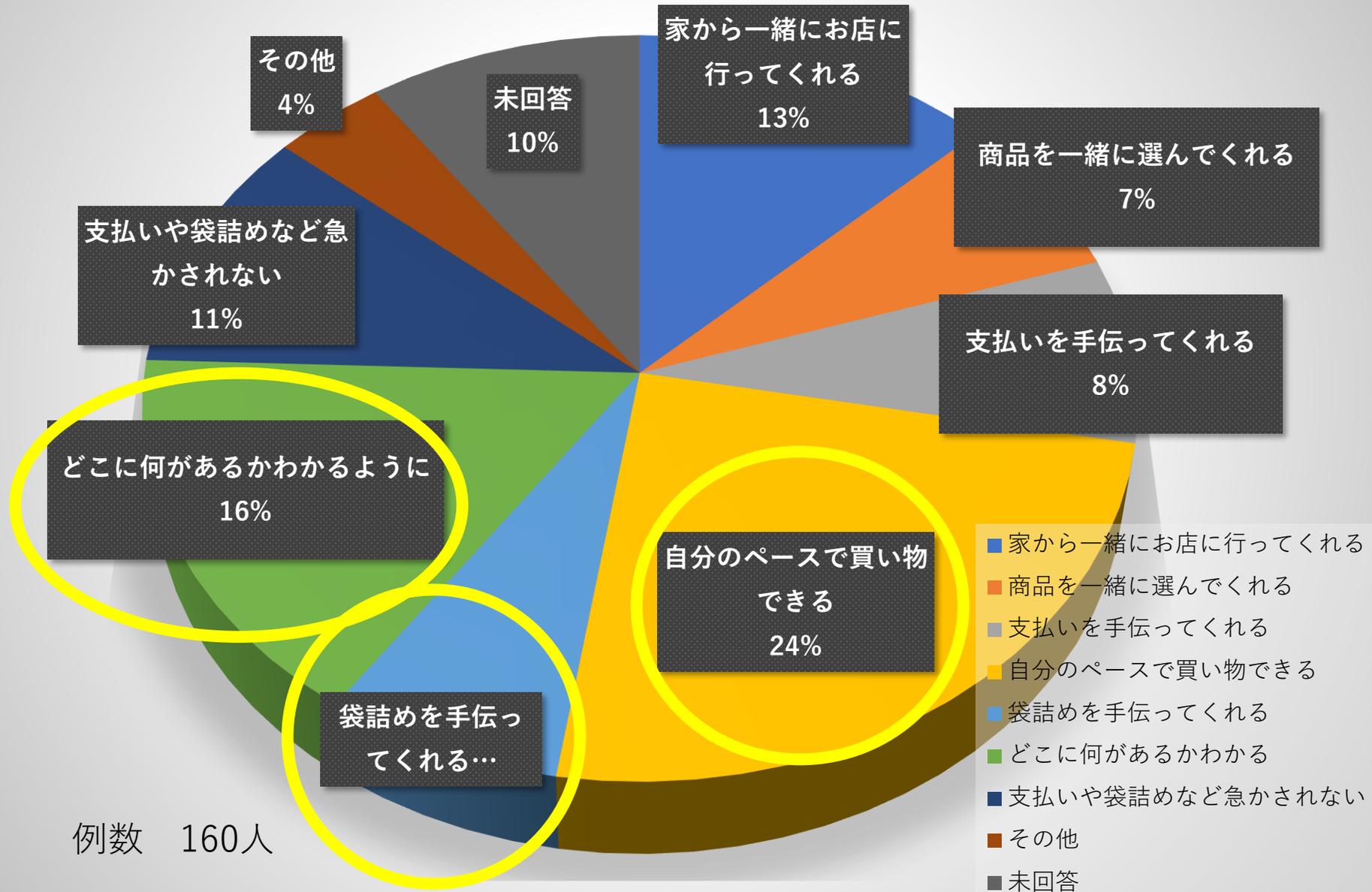
全体を見渡して、記憶する

重さ、硬さ、壊れやすさを  
判断して序列を作り、記憶する

それに従って、  
硬いもの、重いものから  
順番に選んで積み重ねて  
いく

- 判断力
- 作業記憶
- 実行機能
- 選択・確認作業

# 希望するサポート





R1年2月に電話で株式会社マイヤの米谷会長にプロジェクトの提案を行い、3月2日に会長、社長、辻野さんと初顔合わせ。滝沢市地域包括支援センターと滝沢市社会福祉協議会に同席してもらった。

於ホテルカーリーナ

# 認知症になってもやさしいスーパー プロジェクト

《作業メンバー》	岩手西北医師会認知症支援地域ネットワーク	= 医療
	滝沢市包括支援センター	= 滝沢市福祉部
	滝沢市社会福祉協議会	= 福祉（行政委託）
	認知症の人と家族の会	= 当事者・家族
	株式会社 マイヤ	= 民間事業者

【目的】： 認知症とともに生きる社会（Dementia friendly community）  
実現に向けて

**認知症になっても、  
自分で決められることは自分で決めたい、  
欲しいものは自分で選びたい、  
手に取って自分の目で確かめたい、自分でお金を払いたい、  
人と社会とつながっていたい・・・**

認知症の人の人権、権利、尊厳の尊重される社会  
認知症の人とともに生きる社会（共生）

プロジェクトの開始当初から、認知症の人と家族の会に参加を求めた理由

➔ 意見を聞いて、仕組みに反映させるため

医療・介護の専門職、行政  
だけで立案、計画すると・・・

「支援する」 「助ける」  
「安全対策上全部仕切る」  
「支援のやり方をマニュアル化する」

「こういう風にすれば喜ぶはず」  
「こう望んでいるに違いない」

➔ **上から目線、押し付けがましい にないがち**

## <私から、スーパー側に提案したのは>

認知症の人に対する買い物行動を通して自立や尊厳、自信の回復、地域社会とのつながりを回復・維持させたいという試みを説明したうえで

できるだけスーパーには負担をかけたくないので

- 仕組みづくり、ボランティアの募集、認知症に対する講座を用意する
- スーパーの希望があれば、スタッフへの認知症に対する研修を用意する

お願いしたいのは

- スーパー側には場所と時間を貸していただきたい
- 一般の方と分ける必要はないが、専用のレジだけその時間帯に用意して欲しい
- 時間はお店がすいている曜日、時間を使わせていただきたい

## 開催準備の会議で

ショッピングだけでなく

介護に不安、困りごとを抱えるご家族の相談に乗る場ともしたい  
医療のこと、介護申請や地域の介護資源の使い方、家族の  
交流、地域の資源の紹介など

当事者・家族の交流の場も提供したいという希望に対して、

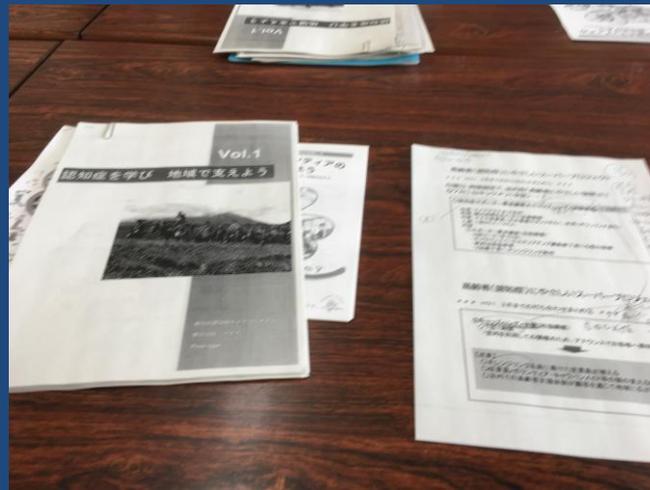
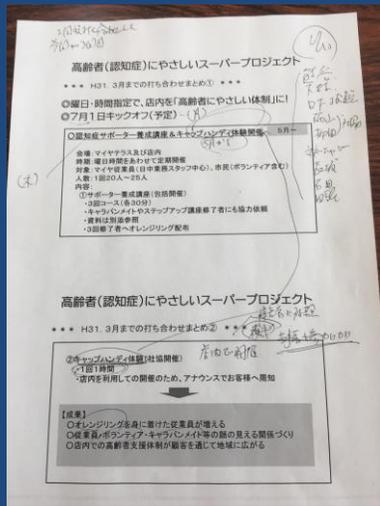
貸し切りではなく、一般の利用者と同席とすることで市民への啓発になると  
決めた。

➡イートインスペースの利用を許可していただけたのが、「スローショッピング」  
の現在までの継続に大きな要素となっている

# R1.4.17 たきざわ市役所での準備会議の様子



滝沢市地域包括支援センター  
滝沢市社会福祉協議会  
株式会社マイヤ  
岩手西北医師会



# 認知症になっても やさしいまちづくり講座

～認知症サポーター養成講座&キャップハンディ体験～



**認知症**について理解を深め、高齢者や障害者にもやさしいまちにしたい！その第一歩として、スーパーマイヤ滝沢店を会場にシリーズで講座を開催します。

世代や病気に関係なく、誰もが安心して暮らせる住みやすい地域にするために、一緒に参加して考えてみませんか。



<b>会場</b>	スーパーマイヤ滝沢店 「マイヤテラス」にて		
<b>対象者</b>	どなたでもご参加いただけます。当日会場までお越しください。 ※ シリーズ4回すべて受講された方には、認知症サポーターの証であるオレンジリングを差し上げます。		
<b>日程</b>	1回目	5月16日 (木)	講話「認知症を理解する」 (こんの神経内科・脳神経外科 クリニック 紺野敏昭医師)
	2回目	5月23日 (木)	13時30分 ～14時 「認知症の人と接する時の心構え」 (市地域包括支援センター)
	3回目	5月30日 (木)	
	4回目	6月6日 (木)	13時30分 ～14時30分 キャップハンディ体験会 (市社会福祉協議会)
<b>受講料</b>	無料		

※ いずれの回も開始10分前より受付を致します。

主催：岩手西北医師会認知症支援地域ネットワーク  
協力：株式会社マイヤ、認知症の人と家族の会岩手県支部、滝沢市社会福祉協議会、滝沢市

【お問い合わせ】  
滝沢市地域包括支援センター「滝沢市役所1階7番窓口」 担当：熊谷、森  
電話：019-656-6523（直通） FAX：019-687-4318

# 認知症になっても やさしいまちづくり講座

～認知症サポーター養成講座&キャップハンディ体験～



**認知症**について理解を深め、高齢者や障害者にもやさしいまちにしたい！その第一歩として、スーパーマイヤ滝沢店を会場にシリーズで講座を開催します。

世代や病気に関係なく、誰もが安心して暮らせる住みやすい地域にするために、一緒に参加して考えてみませんか。



<b>会場</b>	スーパーマイヤ滝沢店 「マイヤテラス」にて		
<b>対象者</b>	どなたでもご参加いただけます。当日会場までお越しください。 ※ シリーズ4回すべて受講された方には、認知症サポーターの証であるオレンジリングを差し上げます。		
<b>日程</b>	1回目	6月13日 (木)	講話「認知症を理解する」 (こんの神経内科・脳神経外科 クリニック 紺野敏昭医師)
	2回目	6月20日 (木)	13時30分 ～14時 「認知症の人と接する時の心構え」 (市地域包括支援センター)
	3回目	6月27日 (木)	
	4回目	7月4日 (木)	13時30分 ～14時30分 キャップハンディ体験会 (市社会福祉協議会)
<b>受講料</b>	無料		

※ いずれの回も開始10分前より受付を致します。

主催：岩手西北医師会認知症支援地域ネットワーク  
協力：株式会社マイヤ、認知症の人と家族の会岩手県支部、滝沢市社会福祉協議会、滝沢市

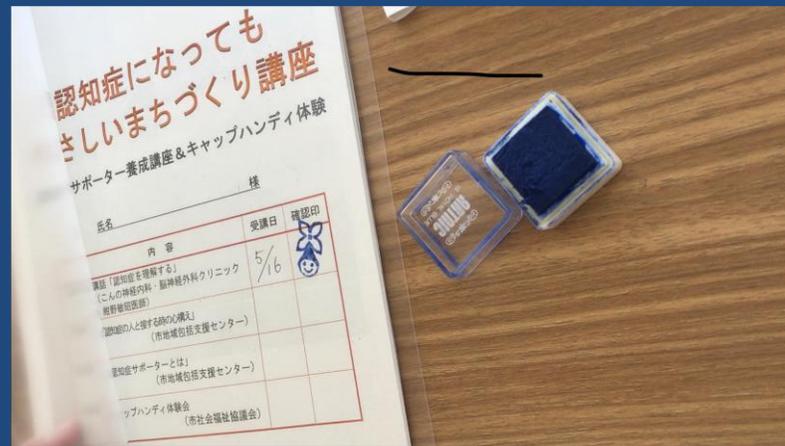
【お問い合わせ】  
滝沢市地域包括支援センター「滝沢市役所1階7番窓口」 担当：熊谷、森  
電話：019-656-6523（直通） FAX：019-687-4318



認知症になってもやさしいまちづくり講座  
第1回目 5月16日



地域包括支援センター、  
社会福祉協議会の職員  
が設営



講座受講を  
スタンプで証明



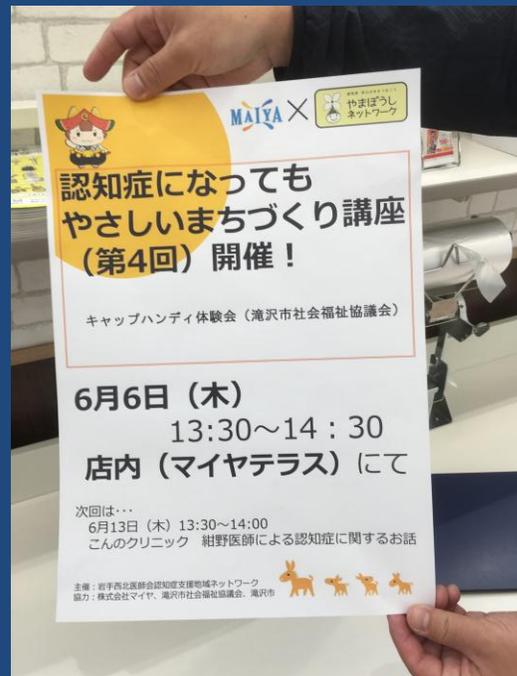
手袋をはめたまま  
でレジを体験



車イスでは店内  
はどのように見え、何が不自由  
に感じるか？



視野が狭くなり、視力が  
低下するゴーグルを着けて  
の体験



### キャップハンディ体験とは (障がい疑似)

#### 意義

障がいのない人が、障害のある人の立場で考え行動する姿勢を身につけ、「自分にどんなことができるか」と考えてもらうきっかけづくりを目的とした体験です。

- 1、車椅子で移動してみたり、目隠しをした状態で歩いてみたり、障がいを持った人の不自由・不便さを感じてみる。
- 2、どういつ時に不便なのかを体験することにより、障がいを持つ人が困っている時の支援・介助の方法を学ぶ。
- 3、相手が何に対して困っているのかを考えるきっかけを作る。これによって「ホスピタリティマインド(おもてなしの心)」を高めることにつながる。

すぐに役立つ技術だけでなく、真の教養として  
身につけてほしいと思います。

## パートナーの寄り添い方

- 本人が手に持っている買い物メモは取り上げない
- メモに書いてある順番で買い物をする  
野菜、冷凍食品、日用品、調味料などをまとめて一か所で効率よく買うというのは止めましょう
- 急ぐ買い物ではないので、行ったり来たりすることも楽しみの一つ。  
歩くことで運動にもなる
- メモ以外のものを買おうとした時、否定しない
- 予定以外のものを買うのもショッピングの楽しみ
- 気が変わるのもショッピングの楽しみ

**スローショッピングのコンセプトは、自分のペースでゆったりと  
買い物を楽しみ、サロンでおしゃべりすること**

**「スローレジ」、「ゆっくり会計」、「ゆっくりレジ」 など**

**これだと、会計はゆっくりと自分のペースでできるんだね！！**

---

**「スローショッピング」のコンセプト**

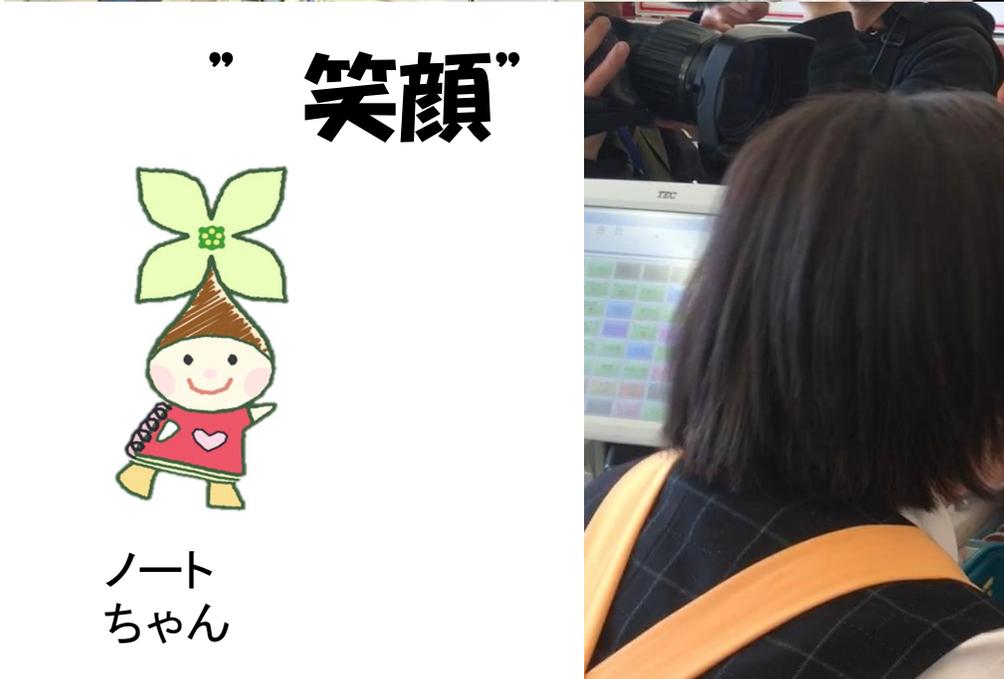
**会計をゆっくりやれるだけでなく、ショッピングそれ自体を自分のペースでゆったりと楽しむ**

**「サロン」で交流を楽しむ つながりの居場所  
家族の相談の場、家族同士のつながり**

スローショッピング 映像  
Short version



ポッケ  
ちゃん



”笑顔”



ノート  
ちゃん



にじいろ  
ちゃん





# 買い物をするという行為はなぜ楽しいのか？

覚えておかな  
なくちゃ！

何を買おうか？

いま何があればいいかな？  
何が食べたいかな？  
いま足りないものは？

考えて決める  
という前向きな  
気分

目標を決める  
それを頭にとどめるか、  
メモする という意欲

いろいろ種類があるが、  
どれにしようかな

あ、ここだ

どこに置いてるかな？

取捨選択 →  
考えて決める

見つけた喜び

探すという行為  
好奇心

少し不安だけど、自分  
で会計しようかな

助けてもらったけど自分で  
できた！！

買い物をやり終えた！

冒険, 勇気

という喜び、満足感

という達成感

## スローショッピングの有用性

単に必要な物を手に入れるなら、宅配で充分

ショッピングでは、いろいろな商品を手にとって、悩みながら自分で選んで決めて、自分で支払う喜びを体験できる

➡ **自分の存在感、役割感を認識**

広い店内を歩くことで、運動（リハビリ）にもなる

## ショッピングと併設した「くつろぎサロン」の有用性

サロンでは **当事者同士の交流**

**介護家族の交流、話し合い、悩みを打ち明けたり、相談できる**

**認知症の人と家族の会、社協、地域包括支援センター、医療スタッフにも相談できる**

当事者は、サロンに家族を残してパートナーの見守りを受けながらも一人でショッピングを楽しめる。

認知症カフェの役割も果たしている

一般の客も同席できるので、啓発に一役かうことができる

令和5年2月、通算141回目のスローショッピングを開催

参加される当事者・家族は

買い物の楽しみ が半分

いつもの顔に会えて、交流の楽しみが半分

と言う

つながりの場、交流の場 となっている「くつろぎサロン」  
の果たしている役割も大きい

# スローショッピングに参加している当事者、家族の変化

## 男性 の変化 ①

(令和2年3月4日奥さんから聞き取り)

DSで、人との会話、コミュニケーションをしなかったが、スルーショッピングに来るようになってから、生き生きするようになり、DSでも積極的に話すようになった

DSで、家に帰ると言わなくなった

何か気に入らないことがあると、食事を拒否して、説得しても応じないことがあったが、全くそういう反応を示すことがなくなった。

まず最初に目にし、変化したことは、普段は家では見られない夫の笑顔、コミュニケーション能力（抜群だと思った）

その様子を目にして私も笑顔、癒されたり

介護する人と、される人は合わせ鏡かも・・・

# スローショッピングに参加している当事者、家族の変化

## 男性 の変化 ②

(令和2年3月4日奥さんから聞き取り)

(本人の言葉)

外に出て、人に会って話すことで以前よりも楽しくなった (コミュニケーション能力)

いろいろな情報を聞けるのが良い

買い物の時、唯一自分で自由にお金の出し入れができる……

この体験、経験が自信につながった

(いつの間にか、大蔵大臣が妻になってお金の管理変更になってしまって……

不満も少々ある)

食材を見て、選ぶことにより食生活、特に持病 (糖尿病) で血糖をコントロール良く保つため努力するようになった

スローショッピングに行くようになってから、離れて暮らしている2人の娘から、「今日はどうだった？」とメールが来る。父と娘のコミュニケーション、安否確認になっている

# スローショッピングに参加している当事者、家族の変化

## 男性 の変化 ③

(令和2年3月4日奥さんから聞き取り)

(介護者 = 妻の言葉)

介護していて、時々自分の時間がなかなかなくて、社会とのつながりが減ってしまい、老々介護になっていた。ストレスが溜まって自分の精神が持つだろうかと不安な日々…

悪いとは思いながら、時々夫に不満をぶつかけたりして…

そんな時、スローショッピングへのお誘いを受け、参加となった

スタッフの方々からのやさしい声掛け、アドバイス、他の介護者、家族の会との交流、出会いに触れて考えを変えることができた。

夫への接し方、お互いの気持ちを通じ合えるようになった、ゆっくりと時間をかけて周囲に以前よりも自分の思いを正直に話せるようになり、他の人の力を借りられるようになった

# 本人にみられる変化

- ◎ 意欲が出てきた、自分からやるようになった、言葉数が増えた、笑顔が増えた
- ◎ 財布を取り戻すことができた

# 家族にみられる変化

- ◎ 買い物する姿を見て  
「こんな楽しそうな顔を見たのは何年ぶり」  
「あんなにおしゃべりだとは思わなかった」
- ◎ 認知症に対する考えが変わった
- ◎ 叱ったり、注意するのはよくないことを知った
- ◎ まだできるんだと知った

# スーパーの変化

- ◎ 高齢者、認知症の理解が深まった  
展示の工夫、掲示（サイン）の工夫、ショッピングカートの工夫、トイレの改修、音響
- ◎ 今後も増えていく高齢の来店客に対応する準備期間となった

# スーパーの従業員の变化

- ◎ 認知症の人への理解が深まった、対応のしかたを学ぶ機会となった



# 店内のバリアフリー化

見やすいサインの工夫  
 陳列棚の工夫  
 店内の音楽などの音量低下

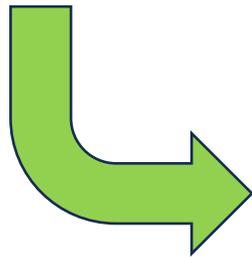


**このような体験が、**

- **自分の立ち位置を確認**
- **自信を取り戻す**
- **まだできるんだ と気づく**
- **ある程度自分でできることは自分でやりたいという気持ち**
- **地域社会とつながっていると感じる**



**前向きになる  
意欲が出る**



**自立心      自己決定権の回復  
役割感の自覚  
尊厳、自尊心の回復**

令和6年3月7日 191回目のスローショッピング開催  
参加者延べ4000人 達成



# スローショッピングの広がり

(1)

岩手県滝沢市 マイヤ滝沢店 令和1年7月11日 「スローショッピング」

[https://www.ninchisho-forum.com/movie/n-105\\_01.html](https://www.ninchisho-forum.com/movie/n-105_01.html)

[https://www.pref.iwate.jp/res/projects/default\\_project/page/001/003/648/tiikidetutumu\\_31gou.pdf](https://www.pref.iwate.jp/res/projects/default_project/page/001/003/648/tiikidetutumu_31gou.pdf)

岩手県陸前高田市 マイヤ高田店 令和3年7月開始

盛岡市 マイヤ青山店 令和4年7月20日開始

マイヤ仙北店 令和4年7月21日開始

岩手県大船渡市 マイヤ大船渡店 令和4年9月開始

岩手県宮古市 生協ゾラ 令和6年11月開始

福井生協 令和3年スタート「ゆっくりレジ」のネーミング

で福井県内の10店舗で開始

<https://m.youtube.com/watch?v=cfqM0bGll8g>

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220518/k10013629281000.html>

福岡県行橋市 たすけ愛京築主催 「スローレジ」

広島市 「スローレジ」

京都市 セブンイレブン山科百々町店

三重県伊勢市 令和4年3月13日開始 「スローショッピング」

名古屋市 令和4年4月開始 名古屋市北区 イオンリテール 「サポートレジ」

秋田県鹿角市 令和4年7月12日開始 「スローショッピング」

横浜市 令和6年4月開始 「スローショッピング」

いわき市 令和6年9月開始 「スローショッピング」

# 課題

スローショッピングに参加したいという本人の声は多い

家族と住んでいても、日中は一人だったり、ご家族の都合で来れない人が少なくない

来店、帰宅の **交通の問題** が最大の課題



令和4年11月30日 第1回目検討会



令和5年2月8日 岩手ダイハツ販売株式会社にて車両提供の交渉



## スローショッピング号

岩手ダイハツ販売株式会社から無償貸与  
令和5年4月22日から



パートナーが同乗し、移動  
の支援と買ったものを自宅  
内に運んで冷蔵庫の中を整  
理して差し上げる

**「生活支援」**

# 社会的処方 の実践

地域に埋もれている社会資源を 掘り起こす → 育てる

新たな社会資源を創り出す

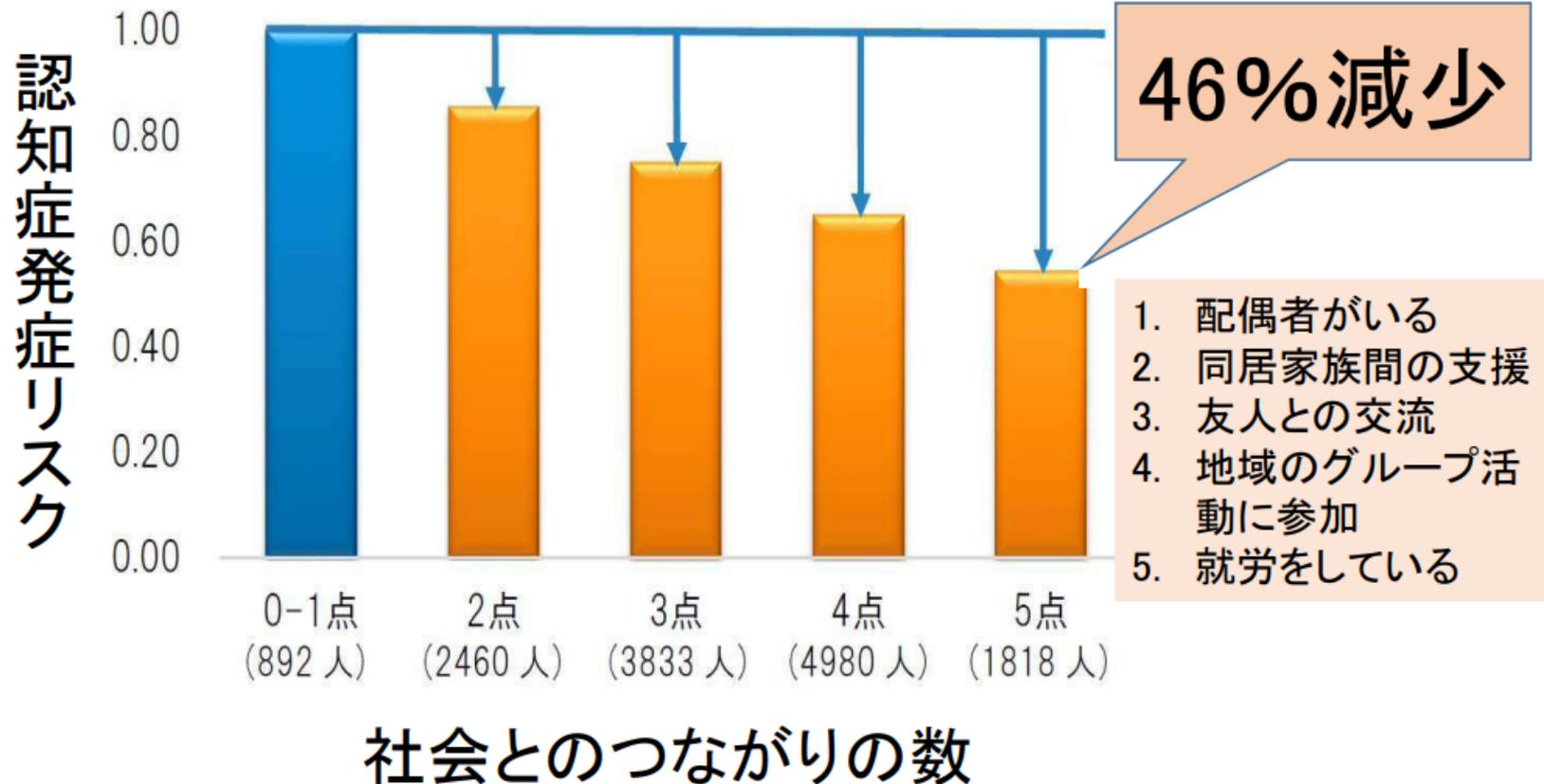
そのためには、地域に出向き・・・

**見る**  
**聞き耳を立てる**  
**話し合う**



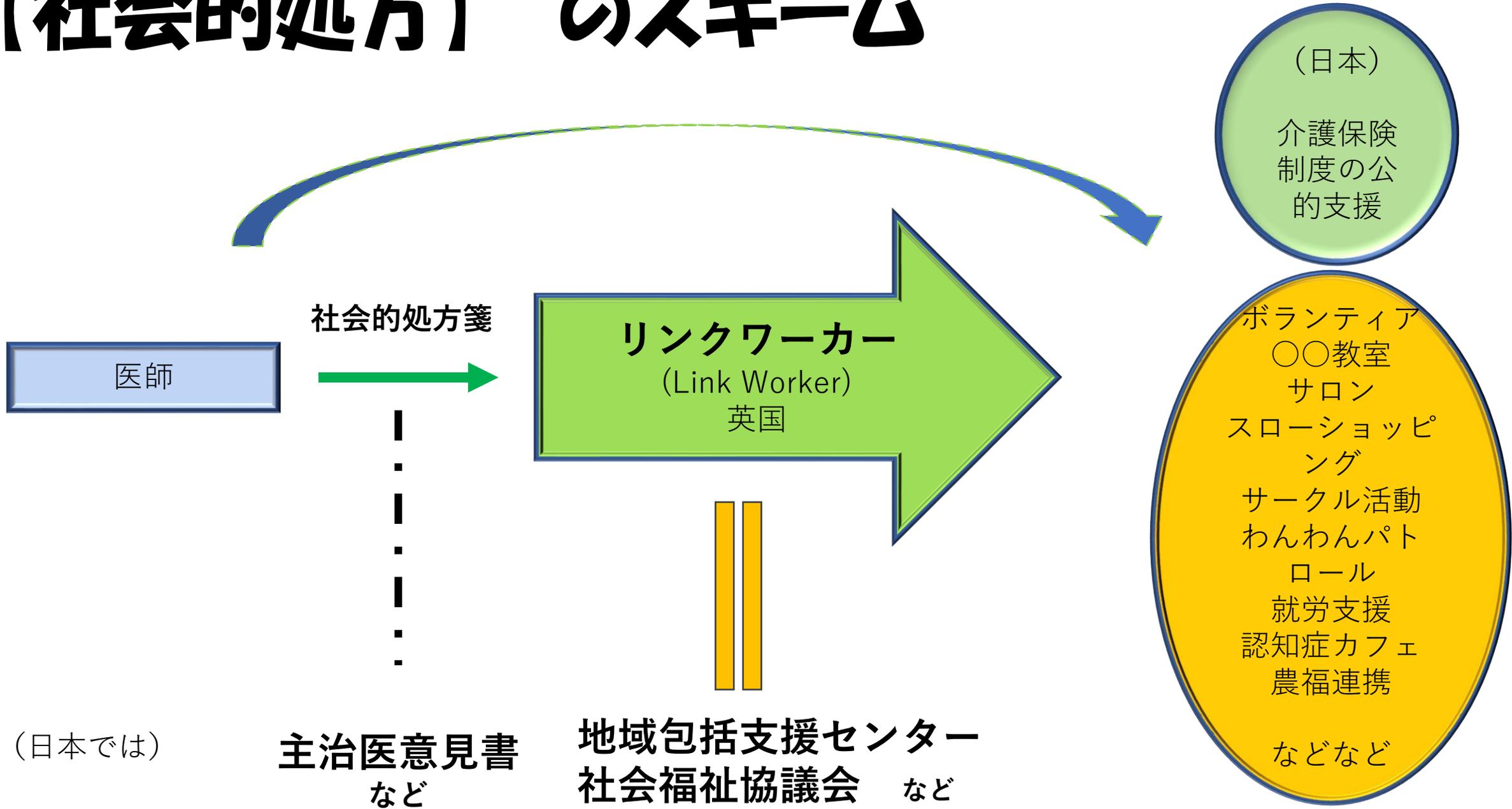
13984名を9.4年追跡

# 社会との多様なつながりがある人は 認知症発症リスクが半減



# 【社会的処方】のスキーム

## 地域の資源



# 既存の枠組みの中でリンクワーカーとしてリンク機能を果たしうる職種・組織



医療	<ul style="list-style-type: none"><li>医療ソーシャルワーカー（主に病院）</li><li>看護職（主に診療所）</li></ul>
介護	<ul style="list-style-type: none"><li>地域包括支援センター</li><li>介護支援専門員（ケアマネージャー）</li><li>生活支援コーディネーター</li><li>認知症地域支援推進員</li><li>地域生活支援拠点</li></ul>
福祉（障害・子育てなど）	<ul style="list-style-type: none"><li>相談支援専門員（障害者）</li><li>子育て世代包括支援センター・地域子育て支援拠点・利用者支援専門員</li></ul>
なんでも	<ul style="list-style-type: none"><li>相談支援包括化推進員（厚生労働省「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」）</li><li>市町村保健師</li><li>市町村社会福祉協議会</li><li>民生・児童委員</li></ul>
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"><li>就労移行支援</li><li>その他（地縁組織、NPO、企業など）</li></ul>

# 地域の資源 高齢者、認知症、孤立状態となっている人

## の方々がつながりの場として集える居場所作り

### をみんなで考えましょう



活動  
サービス  
ボランティア  
〇〇教室  
サロン  
スローショッピング  
サークル活動  
就労支援  
こども食堂  
農福連携  
などなど



社会資源の発掘（地域に埋もれている）と支援～育成  
新たな社会的資源を作り、育てる

地域住民  
民間企業                      との協働      が不可欠

### 社会的処方の効果

孤独の緩和  
社会的孤立の解消  
不安・抑うつ の軽減  
自己効力感の向上  
医療費の削減

# 認知症を治す薬（疾患修飾薬）はまだない

→ 高齢者の認知機能の維持をもたらす因子を見出すことが必要

**「生きがい」** というポジティブな心理的因子  
= 幸福の構成要素

**「生きがい」**  
**「教育水準」**  
**「社会とのつながり」**



脳のアルツハイマー病理  
が認知機能に及ぼす悪影  
響を軽減

# スローショッピング

を知っていますか？

買い物の楽しさを、  
心が覚えている。

認知症になると、認知機能が低下し、  
当たり前だったことが今まで通りできなくなる。  
だけど、買い物の楽しさを、心が覚えている。

できることは自分でやってみたい。  
買い物も自分のペースで楽しみたい。

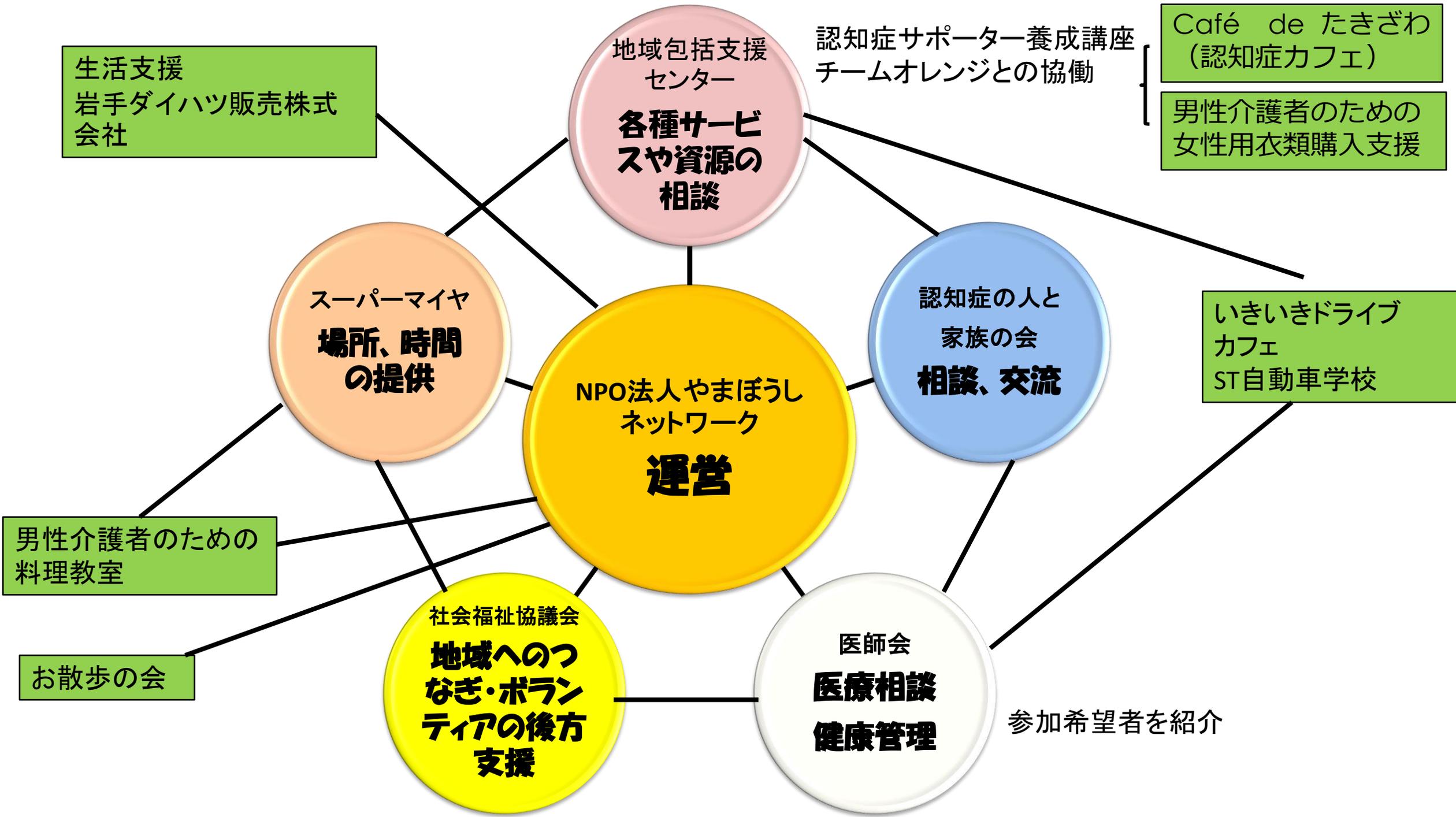
ゆっくり、あせらず。

いつものお店で欲しいものを自分で選んで、  
支えてくれる人や店員さんと会話しながら、  
専用のスローレジでゆっくりと会計する。

認知症でも安心して買い物ができる社会は  
誰もが安心して買い物ができる社会。

誰もが、元気に自分らしく暮らすために。





# 認知症バリアフリー社会の実現に向けてもとめられること

認知症に対する正しい知識の普及啓発

認知症の人当事者の声

認知症に対する人々の心のバリアをなくす

認知症バリアフリー社会の実現

認知症の人が暮らし続けていけるように、社会生活上でのソフト・ハード面でのバリアを減らす

国・地方公共団体

地域住民

企業・団体など

医療・福祉関係者など

教育・研究機関

# 治療と介護の、最終目標は

認知症になった人の

家族の  
中での  
存在感

まだ、地  
域社会と  
繋がって  
いる

興味  
関心

# 幸せ

生きが  
いの  
再発見

まだ人の  
役に立て  
れる

を、もう1回見つけることを手伝う  
こと（暮らしの質の向上）